

2004年9月24日発行

# ぱるす

四季の会・ユーザーズ・サービス

180号

発行人 浅沼 邦夫

拝啓 爽秋の候、先生におかれましては益々御健勝のことと存じます。

敬老の日も変わり戸惑いました。藤原直哉氏のワールドレポートに、敬老の日にちなんで発表された統計によれば、すでに日本人の5人に1人は65歳以上の高齢者。介護保険による要介護者は、制度開始から3年で1.8倍、年間400万人に膨れ上がり、一方で働く若い人たちは、フリーターが217万人、卒業後就職しない人が52万人。また長時間労働やストレスの増加で健康診断をすると2人に1人に異常が見つかったようです。

貯蓄を調べると全体として貯蓄が減って借金が増えるなかで何と全世帯の2割が貯蓄がゼロ、単身世帯に限ると35%がゼロとなっていて、昭和時代の若さとか量の拡大、或いは三角形の人口ピラミッドを前提にした年金などの諸制度、或いは日本は平等だとか人を大事にする社会だとかいったこれまでの常識が抜本的に成り立たない状況になりつつあるようです。

日経新聞(9/18)で財務省が国の貸借対照表を発表した。財務省は17日、国と特殊法人などをあわせた2003年3月末時点の貸借対照表(バランスシート)を発表した。140の特殊法人や独立行政法人などを加えた政府部門の連結ベースの債務超過は約252兆円と、1年前より39兆円の増加。国債や特殊法人の発行債券などの負債が膨らんだため、借金依存の危機的な財政事情が浮かび上がった。連結ベースの資産総額は前年同月末比0.9%減の約814兆円です。

負債の部では、景気低迷による税収減などを埋めるため国債発行がかさみ、民間などの保有する国債残高は12.1%増の約322兆円。介入資金を手当てするため政府短期証券残高も44兆円と8.6%増え、財投機関債の発行定着などで特殊法人債券は2ケタ増加した。

また、公的年金積立金相当額を負債に見

立てた「年金預り金」も、将来の給付増を反映して微増の173兆円。こうした要因で負債総額は3.1%増の約1067兆円となった。資産から負債を差し引いた債務超過額は252兆円。これが国が保有する資産を全て処分して負債を返済しても残る借金額にあたる。いつか大変な時代が来るようです。

## 会計事務所のリスク

ある業界誌にこんなことが出ていました。「会計事務所の不思議」として、「この業界は職員の入れ替わりが多いから」という理由をたてに、人が辞めることに胸が痛まない。事務所を訪問しても事務所案内(パンフレット)が出てこない。「営業が得意でない職員が多いからね」と言って、会計簿記専門学校に求人を出し続ける。

3年経って、上場企業の経理課長ができるくらいの人材を育てておいて、本当に3年経ったら辞められてしまう... 月次顧問契約を交わしているのに、顧問先の準備ができていないことを理由に3ヶ月に1度しか訪問しない。1人当たりの生産性が1,000万円だと超優良事務所だと言われる... 「職員の対応が悪くて顧問料の引き下げ要求が来た!」と所長がぼやく...

この話は、所長先生にとって1つや2つは心あたりがあるのではないのでしょうか? 相当の危機感を持って、会計事務所経営の見直しをすることが重要のようです。

更に大事なことに、労働基準監督署がサービス業に向けて指導が盛んに行われている。サービス業の場合は「自己裁量」の部分が多く、特に会計事務所の場合、労働時間の把握と相当額の残業手当の支払など、様々な矛盾が存在します。

更に、休日が多くなった。土日祝祭日、有給休暇などを考慮すると、コストと生産性に課題が山積されている。これらの会計事務所リスクが多くなって来ました。

## 経営者の簿記

「リーダーのための簿記の本」が、今、ベストセラーで売られています。信越化学顧問、金児昭著です。簿記のことを「Book Keeping」といわれます。会計人から見ると、安易で意味のないことかも知れませんが、顧問先である経営者が知るべき本かも知れません。

経営者に「簿記」のことを言っても、苦手意識で全くわからない人が多いのです。しかし、「経営の現場で役立つこと、国際競争の時代に合っていること。そして暗記ではなく理解できること」で経営者が簿記に関心を持って来たようです。

経営において、何がどれだけ増えて、どれだけ利益をあげたか、損をしたか!

何がどれだけ減って、どれだけ利益をあげたか、損をしたか! 結果的に、今財産はどれだけあるか! というような会社の数字の動きを常に把握していることが重要です。そして、そういった動きを記録し、最終的に決算書として表すのが「簿記」の仕

組みです。

真剣勝負「経営の動き」を捉えるのがBook Keeping、つまり「ブキ」です。Bookは本・帳面「決算書」のことです。Keepとは「継続して記入する。」経営をする、マネージと同じ意味です。

Book(ブ) - Keeping(キ) = ブキ  
決算書 - 経営 = 簿記

信越化学工業グループの月次の決算書は、「ブキ」で作られている。月次決算書を作る企業経営、企業会計の流れの全てが「ブキ」なのです。月次決算書ができると、四半期決算書(3ヶ月)、半期決算書(中間・6ヶ月)、年次決算書(1年)は自動的に作ることができます。

この本は、経営者の会計・財務への意識改革かも知れない。ブキ(リーダーの簿記)の目、経営は「増減」「減増」という動きの中にある! 「科目の4マス」で仕訳の壁も乗り越えられる! 月次決算でブキは完結する! 正しい仕訳が正しい決算書に結びつく! ブキのしくみが決算書という果実を生む! 会社の全てがわかってくる!

この本は「経営者の簿記」である。我々は「会計事務所の簿記」である。日本の歴史の中で、有名な上杉鷹山、恩田木工の藩財政改革のもとに決算書ありといわれます。財政改革の成功の裏側には、必ず「真実の決算書」が存在していたと思われます。そのくらい決算書は大事なのです。

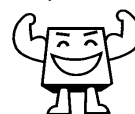
この本を見ながら、私は「その場で会計・決算診断」は正に、この本のためにあるのかと思いました。「月次会計・月次決算は、会社に行き、現場の中で経営者との対話ができる」中間決算での「中間決算提案書」、本決算での「決算診断提案書」は確実に感動を与えていくのです。

「月次会計・月次決算」でブキは完結する! ブキのしくみが決算診断という果実を生む! 経営者が喜んでくれる。会計事務所は、よき参謀です。これが付加価値と新規拡大につながっていきます。これから会計事務所は「王道」を示すことです。「その場で会計・決算診断」は「自利利他」につながるものです。

是非、ご参加下さい

## 「決算診断実践会」

### 事務所経営研修会



「会計事務所は所長先生次第です」  
面白い時代です

今こそ

「会計事務所満足」で伸ばそう!!

- 決算診断こそ最大のビジネスチャンス -

### 事務所経営研修会 日程

(大阪)10月 7日(木) エル・おおさか

(東京)10月 8日(金) フォーラム8

(福岡)11月 9日(火) ASCビル

(仙台)11月10日(水) 戦災復興記念館

各会場とも11:00~17:00